平成28年度 事務事業評価シート

	事務事業名		美名	表彰	式與	电開	崔事	業						担当部	市長公室	
	会計区分 事業期間			-	-般会	Ħ		事業	類型	-	般事	業	担当課	秘書』	汝策課	
			平成12年度以前			,	~ 平成31年度以降				降	担当係	秘書係	系		
		計画	施策等	7	行政紀	経営		30	30 地域協働 1 協働に					よるまちづくり	の環境	を充実します
	新基ス	本計画	池米寸	重点	事業			実施計	·画事業							
	Ŧ	予算区分		款		2	項		1	目	:	2	大	3	中	1
	根拠法	よ令•個.	別計画	小牧市表彰条例、同施行規則												
	目	何・誰を		市政功労者や叙勲等の受章者												
	的	in どの様な にするの		市政功法へ								えるこ	とによ	り、市政へ貢	貢献して	こいる人を
事																
				市表彰 開催し							新年	賀詞交	換会と	:同時に市政	功労者	者表彰式を
業											表彰記	たにお	ハて記	念品を贈る	o	
_o	内容(手段) 目的達成のため にどのような事業 を実施したか			【平成2報償費	854	4千円	直接絲	圣費の	内訳	叙熏	快受章	者記念	品料	記念品料	3	94千円 460千円
概			需用費 役務 養 養 長 用 料	: 3 : 9	7千円 8千円	ነ 7	'0千円		消耗 筆耕 市政	D他、1 毛品費 :翻訳 功労者	食料費 料	等 式会場	設営委託料	ł	85千円 43千円 29千円	
要			【平成費票 登集 卷 卷 卷 卷 卷 卷 卷 卷 卷 卷 卷 卷 卷 卷 卷 卷 卷 卷	1,9 43	35千円 7千円 0千円		圣費の		叙勲 パンフ その 筆耕番	受章 オレット しゅう 他、食 羽訳料	者記念 印刷代 料費、	品料 ; 式典/	己念品料 用資材借上 设営委託料	1 料等	35千円 600千円 30千円 307千円 80千円 0千円	
	受	益者負	担	無	!											

				単位	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28予算額
		直接	経費	千円	1,493	1,434	1,216	2,572
		正職員	従事者数	人	0.15	0.15	0.15	0.15
⊐		正順貝	人件費	千円	825	825	825	825
	費 用	その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
ス			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	2,318	2,259	2,041	3,397
 		対前	年比	%		97.4	90.3	166.4
	-	一般財源 国·県支出金		千円	2,318	2,259	2,041	3,397
	財 源			千円	0	0	0	0
		その他	也財源	千円	0	0	0	0

事業番号	3

	活動指標名			H25	H26	H27	H28
	市政功労者表彰式、新	回	目標	1	1	1	1
	年賀詞交換会		実績	1	1	1	
alle			目標				
業			実績				
			目標				
			実績				
績	成果指標名	単位		H25	H26	H27	H28
	 被表彰者	人	目標			_	_
	版 双		実績	27	15	16	
			目標				
			実績				

	平成27年度の実施結果	事業の 達成状況	平成28年1月4日に、市役所大会議室において一般表彰・自治功労表彰7名(市職員部長職2名、教員5名)と小牧市市民会館ホールにおいて一般表彰9名(民生・児童委員2名、学校医5名、少年センター補導員1名、多額の寄附1名)を表彰した。(市民会館ホールにおける一般参会者は約200名)
		事業実施におけ る課題	今後も市政に貢献した人への表彰は続けて行く必要があるが、表彰基準について は、誰もが納得できる時代に適合した内容になっているか常に留意する必要がある。
事業の		事業を縮小・ 廃止したときの 影響	長年市政に貢献した人物・団体への表彰であり、市の表彰制度がなくなることは、市 政参画意欲の低下を招く恐れがある。合わせて小牧市在住の叙勲・褒章受賞者の公 表がなくなることで、市民に対して披露する場を失ってしまう。
り自己評価	平成28年度の	直し内容(新規追	事業規模は原則として現状どおりとするが、まだ、賀詞交換会において食糧費の経費 削減の余地がある。来場者数の特定を行うことが出来ないものの、過去の来場者数、 在庫等を踏まえて適切な発注を行う。
	平成29年度の事業の方向性	方向性の判定	維持 事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの (対象や手段を見直す場合も含む)
		判定理由	毎年秋開催の表彰審査委員会にて、市政功労者を決定し、新年賀詞交換会と同時に 開催する市政功労者表彰式において、表彰及び記念品を贈る必要があるため 叙勲・褒章受章者に対しては、市政功労者表彰式において記念品を贈る必要がある ため
		29年度以降 の改善案	来場者について、毎年人数が変化するため、28年度の来場者数、在庫の数、過去の 来場者数、在庫等を踏まえて適切な発注について検討する。

١.	_	方向性の判定	判 定 理 由
ざ言信	欠平面	維持	一次評価のとおり。